

「すまい職人きらりアップ体験出前授業」で八戸市立明治中学校の生徒が大工体験

青森県住宅リフォーム推進協議会と青森県では、子どもたちに住宅（すまい）ができるまでの工程や住まいづくりに携わる数多くの職人の仕事内容を紹介し、職人という仕事に理解を深め、すまい職人を目指すきっかけづくりを行うために出前授業を実施しています。令和3年7月13日（火）に大工職種の仕事について木造建築科の担当職員が講師となり、八戸市立明治中学校の1年生と2年生のみなさんに大工の仕事を紹介して仕事の一部を体験していただく出前授業を行いました。



はじめに、家づくりに携わる職人のことや建物ができるまでの工程について、映像資料をとおして説明したのち、今ではあまり見ることはできなくなった2本の柱（ひばと杉）を1本に組み合わせて継ぐ「継手」の加工について、当校の女性職員が担当しました。生徒のみなさんからは、「組木した柱材に隙間がなく1本につながり、6人が一斉に載っても柱が折れなかったので継手の技はすごい」といった声がありました。

すまい職人きらりアップ体験出前授業の概要

◇実施日:令和3年7月13日(火)

◇実施校:八戸市立明治中学校 1学年・2学年 54名

◇講師:青森県立むつ高等技術専門学校(木造建築科)

主幹 春日貴順、主査 西野修司、講師 佐藤千亜希

◇プログラム(教科:技術/木材加工)

〈1時間目〉	①住まいができる工程と住まい職人の紹介
	②職人の仕事と魅力についての講話
〈2時間目〉	③大工道具と使い方、木材の説明
	④講師による木材加工組立ての実演
	⑤児童による木材加工・組立ての体験演習
	⑥まとめ



その後、生徒のみなさんには、各学年に分かれて、かな掛け、電動工具を使ってベンチ作りを体験してもらいました。各作業を体験した生徒から「かなを実際に使ってみると、簡単そうでしたが力加減がとても難しかったです」「意外とビス打ちが難しくて苦労しました」「ベンチを作るときにみんなで協力することができて良かったです」などの感想がありました。

出前授業で各学年が製作したベンチは、製作作業に携わった生徒のみなさんに校内で使用してもらうために、当校の木造建築科の職員からそれぞれの学年の生徒代表の方へ手渡されました。



今回の出前授業では多くの生徒のみなさんに大工という職業について説明することができました。生徒の皆さんからいただいた感想には、「出前授業を体験したことで大工などの職人や木材加工について興味を持つことができました」「継手加工を女性の職員の方が担当していたので、女性でも職人として活躍できることが分かりました」などの感想がありました。今回の出前授業を受けた生徒のみなさんがこれを機に「ものづくり」への興味・関心を深め、技能・技術の大切さに気付いてくれることを期待したいと思います。